

# 家庭教育学級の歩み

牛久市立下根中学校  
家庭教育学級委員長 莊原 いず美

## 1 下根中学校の学級目標

- ・家庭教育学級の活動を通して、親子で課題を共有し、子どもをサポートする。
- ・中学生が抱きやすい悩みを少しでも軽くするためのきっかけ作りをする。

## 2 学習活動の経過

- (1) 7月14日(金)
  - ・開級式
  - ・「スマホ・携帯の安心安全な使い方を親子で考えよう」  
「KDDI スマホケータイ安全教室 安心安全講座」(DVD) 視聴  
生徒のグループディスカッション、振り返り、保護者の感想
- (2) 11月28日(火)
  - ・「講座・自己肯定感を高める3つの方法」  
講師 片野 靖久先生(未来 factory 勇気づけの専門家)
  - ・閉級式

## 3 実践を振り返って

- (1) 開級式「スマホ・携帯の安心安全な使い方を親子で考えよう」  
中学入学を機にスマホを購入する生徒が多く、夏休み前に注意喚起のためスマホに関する講座を全体に行いたいという目的で実施しました。KDDIのDVD視聴による講座になりましたが、扱っていた事例が身近で臨場感のある内容だったので、生徒と保護者の双方にとって、ネットやスマホの怖さを再確認するいい機会になったと思います。



- (2) 閉級式「講座・自己肯定感を高める3つの方法」  
子供たちが様々な場面でストレスを抱えることが増えるだろうということで企画しました。片野先生は元学校の先生ということで、子供たちに問いかけたり、ワークシートを活用したりしながら、講義をしてくださいました。リフレーミングなど、保護者にとって子供たちの長所を認めてあげるためのきっかけとなる内容などもあり、充実した講義となりました。残念ながら時間の関係で振り返りの時間をもつことができませんでしたが、子供に対して、これまでとは違った角度からの考え方や捉え方を教わる機会となりました。子供たちが困ったときなど、どこかで役に立ってくれることを願っています。



## 4 まとめ

2つの活動が子供たちや保護者の皆様にとって役に立てたのならうれしく思います。一方で、生徒数が約200名に対して、保護者の参加が一回目は2名、二回目は3名であって保護者からの多数の参加が厳しい状況でした。また、PTA役員からの参加も難しいという意見が多かったことや昨年も参加者が少なかったことを考えると、今後も同様な状況が続くことが予想されます。家庭教育学級担当者の役割分担と負担軽減、活動内容のスリム化などPTA役員や保護者の方々の意見を取り入れ、今後の牛久市の家庭教育学級の在り方を検討しながら、よりよい活動につなげていきたいと思っています。